



# 神奈川県東ロータリークラブ

KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

DISTRICT 2590/CHARTERED MAY 29-1976/WEEKLY BULLETIN

2013-2014年度 R I 会長 ロン D. パートン

●クラブテーマ「心を見つめよう」●



第2590地区 ガバナー  
市川 緋佐磨

- 会 長 伊 東 英 紀
- 会長エレクト 山 田 正 憲
- 副 会 長 江 森 国 一
- 副 会 長 横 山 範 夫
- 幹 事 山 本 芳 弘
- 副 幹 事 植 田 清 司
- 会 計 朝 日 達 夫
- 副 会 計 須 永 久 一
- S A A 矢 野 修 二
- 副 S A A 小 山 市 康
- 副 S A A 石 川 正 三
- クラブ会報 佐 藤 勝 彦



写真提供 小池将夫会員

**事務局** ホテルキャメロットジャパン内 〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3  
TEL : 045-314-3900 FAX : 045-314-3555

**例会日** 毎週金曜日 0 : 30 ~ 1 : 30 PM (第5金曜日 6 : 00 PM)

**例会場** ホテルキャメロットジャパン **創立記念日** 昭和 51 年 5 月 29 日

**URL** <http://www.kanagawahigashi.com/>

**E-mail** [kerc@beach.ocn.ne.jp](mailto:kerc@beach.ocn.ne.jp)

2013-2014年度 **第7週報** No. 1801 2013年(平成25年) 8月23日 第1801回例会記録 8月30日発行

**司 会** 植田 清司 副幹事

**会長報告** 伊東 英紀 会長

- ・ 8月度定例理事会報告
- ・ R I 事務局より山木幹夫会員にMPHFの認証ピンが届いておりますので贈呈します。

**点 鐘** 伊東 英紀 会長

**斉 唱** 「それでこそロータリー」

**四つのテスト** 伊澤 政宏 職業奉仕委員長  
(第1例会のみ)

**ゲスト紹介** 山内みどり 様 (ゲストスピーカー)  
相原 里美 様 (スピーカーアシスタント)  
但野真実子 様 (入会候補者)

**ビジター紹介** 神奈川県 R.C 金野 克佐 様



本日〈8月30日〉のプログラム

夜間例会

<< 本日のBGM 「Summer time」 沖山 秀子 >>

・米山奨学会より米山功労者の感謝状が届いておりますので贈呈します。



石川正三会員（8回）、山木幹夫会員（7回）

### 幹事報告

山本 芳弘 幹事

- ・次週例会はキャメロットにて夜間例会となりますのでお間違えないようにお願いします。
- ・ロータリー日韓親善会議のご案内が来ておりますので回覧します。
- ・本日、戦略計画委員会を追加した組織表の最新版をボックスへ配布致しました。
- ・本日、本年度の活動計画書をボックスへ配布致しました。

### 委員会報告

戦略計画委員会 委員長 河野 明光

《第1回 戦略計画委員会報告》

日時：平成25年8月23日 例会終了後 3階 ナイト

出席者：河野明光・渡邊 淳・加藤仁昭・植田清司・天野公史・中野真理  
伊東英紀・山本芳弘・山田正憲・江森国一・横山範夫・白鳥厚夫

伊東会長より「単年度の成果主義から離れ、中・長期的な展望に立ってクラブの発展につながる提案を期待しています。」との挨拶の後、河野委員長の進行で本委員会の活動目的から意見の交換が始まった。

今回の委員会は10月開催とし、今年度の役員は本委員会に毎回出席することと合わせ、会員がフリーな立場から戦略計画に関する意見を述べたり、本委員会に参加してくれることを歓迎する意向で出席者全員が合意した。

### 出席報告

長井 章 出席委員長

|       |        |          |        |
|-------|--------|----------|--------|
| 会員総数  | 52名    | (35+17)名 |        |
| 出席会員数 | 39名    | (28+11)名 |        |
| 出席率   | 85.11% |          |        |
| ゲスト   | 3名     | ビジター     | 1名     |
| 前回補正後 | 93.62% | 前々回補正後   | 91.67% |

### スマイルボックス

小山 市康 副SAA

神奈川R.C 金野克佐様 お世話になります。

- 伊東英紀君 山内みどり様、本日の歌、楽しみにしています。
- 吉田隆男君 山内みどり先生、相原里美様、ようこそ私共のクラブにお出掛け下さいました。卓話、及び音楽を楽しみにしております。
- 加藤仁昭君 軽井沢ゴルフ合宿、長井さん、参加の皆様、お世話になりました。天候とコースは最高、ゴルフ成績は最悪！！でした。
- 山田富雄君 伊東会長、月山委員長、赤堀会員、昨日はご苦勞様でした。
- 西山 潔君 ①タウンニュースに載っちゃいました。会員の皆様、是非、ご覧下さい。②イチロー選手日本通算4000本安打。最高です！！
- 長井 章君 軽井沢合宿参加の皆様、大変お世話になりました。
- 天野公史君 暑い日が続きますが、そんな中、鴻PP、昨夜は遅くまで熱いお話と食事、両方頂きました。熱中症になりそうでした。
- 横溝 亘君 皆様、まだまだ暑いですね！！お休みはちゃんと出来ましたか？私はまだ休みが取れません。今日も仕事の都合で早退させて頂きます。
- 白鳥厚夫君 山内みどり様、相原里美様、本日の演奏、楽しみにしています。
- 小山市康君 いつまで続くのでしょうか？この暑さは。

|       |     |          |
|-------|-----|----------|
| 8月23日 | 11件 | 24,000円  |
| 本年度累計 |     | 354,500円 |

### 卓話

#### 「神奈川の音楽家たち〈耕柞・白秋の世界〉」

ソプラノ 二期会会員 武蔵野音楽大学講師 山内みどり 様  
武蔵野音楽大学大学院生 相原 里美 様  
(紹介者 吉田 隆男 会員)

本日は、神奈川東ロータリークラブのお招きに預かりまして、たいへん光栄に存じます。



私は、生まれ育ちは東京、杉並区と世田谷区ですが、画家の夫と結婚した折に、神奈川県の西湘、二宮に住み始めて20年になります。

大学院の頃から、神奈川フィルハーモニー管弦楽団の「歌と司会のお姉さん」の仕事で、西は箱根から東は東横線沿線、淵野辺、横須賀、三崎と、各地に演奏に回りました関係で、神奈川県とはなにか縁がありそうかも・・・と思っていましたら、結婚して、海辺の町に住むようになりました。

不思議なご縁はほかにもありまして、今日お話をさせていただく神奈川を、日本を代表する芸術家について、師匠から受け継いだり、演奏したりすることになりました。

今日は、作曲家山田耕筰と詩人北原白秋の芸術、二人のコラボレーションにより生まれた、珠玉の作品について、演奏を交えながら、お話をしたいと思います。

#### 《略歴》

山田耕筰 1886. 6. 9 東京文京区に生まれる。貧しい幼少期を送る。  
 18歳 東京音楽学校 声楽科入学  
 24歳 岩崎小弥太の援助で、ベルリン音楽学校作曲科留学  
 27歳 帰国  
     作曲家として活躍  
     オーケストラを設立  
 36歳 北原白秋と、雑誌「詩と音楽」創刊  
     小山内薫と、劇団をつくる  
 1965. 12. 29 茅ヶ崎にて逝去

北原白秋 1885. 1. 25 熊本に生まれ、柳川で育つ。裕福な実家は後に没落。  
 19歳 早稲田大学予科入学  
     歌人、詩人として文壇で活躍  
     三崎、小笠原父島、など転々とするうち、生活は困窮  
 33歳 小田原に住み始める  
     鈴木三重吉と童謡集「赤い鳥」創刊  
 35歳 山田耕筰と雑誌「詩と音楽」創刊

38歳 関東大震災被災  
 39歳 静岡に住み始める  
 1942. 11. 2 逝去

白秋作詞、耕筰作曲の代表的な歌

童謡 すかんぼの咲くころ あわて床屋 かえろかえろと  
 砂山 ペイチカ 青い小鳥 等

歌曲 この道 からたちの花 松島音頭 鐘が鳴ります  
 曼珠沙華 かやの木山の 待ちぼうけ 等

白秋・耕筰の狙いは、日本語の抑揚にあったメロディーをつけること。

また、「一音一語主義」と呼ばれる作曲法で、後に、團伊久磨、中田喜直らに引き継がれるが、これによって日本語を明確に美しく歌うことができる。

私の師匠である大谷冽子氏は、昨年5月に他界なさいましたが、山田耕筰にじかにレッスンを受けた、貴重な経験をお持ちであった。

(山田耕筰自身による 歌のレッスンのCD)

実際に楽譜により音の高低、言葉との関連を見ていただきながら、「この道」を歌ってみます。



\*神奈川にゆかりのある、山田耕筰、北原白秋の名前を身近に感じて頂けましたら嬉しく思います。私たちは彼らの芸術を受け継ぎ、歌い継いでいきたいと存じます。

## ロータリー・ニュース

### ポリオの後遺症に苦しむ子どもたちを支援

14歳くらいの男の子に、スポーツについて尋ねれば、お気に入りのチームや選手の名前、自分が大きくなったらプレーしたいポジションなど、すぐに答えが返ってくるでしょう。

ナイジェリアのアブジャに住むサマラ・ハリドゥさんの答えは違っていました。ラジェンドラ K. サブー元 R I 会長がアブジャの病院でこの質問をしたとき、ポリオの後遺症に苦しむ彼は、逆にご質問してきました。「私は、自分の足で立つことができるのでしょうか」

12月、サブー元会長はサマラさんのような子どもたちを助けるため、ナイジェリアで10日間の医療ミッションを実施しました。ロータリー財団の補助金（5万ドル）を利用して実施されたこのミッションでは、19人の医師と6人のボランティアが参加し、ポリオへの感染によって生じた筋肉や骨の変形を治療するため、800件の手術を行いました。サマラさんも両足の手術を受け、今後はキャリパーを装着すれば歩けるようになり、サッカーボールを蹴ることもできるかもしれません。

パキスタン、アフガニスタンと同じくポリオ常在国であるナイジェリア。西アフリカ諸国におけるポリオ予防接種率は、地域社会からの抵抗によって減少しています。この地域では、ポリオ予防接種に関する誤った情報や噂が広まり、親が子どもへの予防接種に難色を示すといった状況が見られています。2012年、ナイジェリアでは121件のポリオの発症が報告され、この数はパキスタンの2倍、アフガニスタンの3倍となっています。

サブー元会長は、1月にポリオ無発生2年目を迎えたインドでも、同じような状況だったと言います。困難な状況でしたが、それを新たな機会として捉え、積極的にポリオ撲滅活動を展開したインド。

「貧困や非識字といった問題に悩まされているインドでもポリオ撲滅を達成できるのですから、ナイジェリアでもできるはず」と元会長は話します。ナイジェリアも同じような問題を抱えていることもあり、ミッションに参加したインド人医師らはナイジェリアの人たちに同情し、できる限りの支援を行うことができたと言います。

病院の待合室で、親たちと話をした際、サブー元会長は、「たった数滴のワクチンで、ポリオからほかの子どもたちを救うことができる」ことを伝えました。親たちはその話に心を打たれ、こう答えました。「ほかの子どもたちが同じ苦しみを経験することがないように、地元に戻ってこのメッセージを伝えます」



「The Rotarian」2013年4月号に掲載

#### 2015-16年度会長にラビンドラン氏

コロンボ・ロータリークラブ（スリランカ）の会員、K. R. “ラビ”ラビンドラン氏が、指名委員会により2015-16年度国際ロータリー会長に選出されました。10月1日までに対抗候補者が出ない限

り、ラビンドラン氏が会長ノミネーとなります。

会員増強がロータリーにおける最優先課題であると考えらるラビンドラン氏は、「会員増強を図る上で、今後も若い世代を重視するとともに、経験豊富な退職者にも入会してもらわなくてはなりません。一つの方法で、世界中の会員問題に対処することはできないという認識に立ち、地域別の会員増強計画を立てたのは適切であると思います」と述べています。

ラビンドラン氏はさらに、「アルバート・アインシュタインが『同じことを繰り返しながら、違う結果を望むことを、狂気という』と言ったように、ロータリーの従来の方法は、良い結果を生みませんでした。今回の地域別会員増強計画で、世界が22の地域に分けられ、それぞれの地域にあった計画が実行されていることをうれしく思っています」と述べました。

「ロータリーが与えてきたインパクトを人々に理解してもらえよう、ロータリアンが、特にソーシャルメディアを通じて、一貫性のあるかたちで、ロータリー・ストーリーを伝えていかなければなりません」と、ラビンドラン氏。

「私たちのアイデンティティは、シンプルで、ロータリーの中核となる価値観に基づいたものであり、しかも、ロータリアン以外にも分かりやすいものでなければならないと思います」

商学の学位を持つラビンドラン氏は、ティーバッグの製造で世界をリードする上場企業、Printcare PLCの創始者・CEO（最高経営責任者）であり、そのほかいくつかの企業や慈善信託基金の理事会メンバーを務めているほか、スリランカ最大の麻薬防止団体であるSri Lanka Anti Narcotics Associationの創立会長です。

スリランカのポリオ・プラス委員長でもあるラビンドラン氏はさらに、同国政府関係者、ユニセフ、ロータリーのメンバーから成るタスクフォースの委員長としてユニセフと協力し、同国北部を領域とする武装組織から、全国予防接種デー（NDA）中の一時停戦の約束を取り付けた実績があります。

1974年にロータリーに入会したラビンドラン氏は、これまで、国際ロータリーの理事および財務長、ロータリー財団管理委員を務めたほか、国際協議会のディスカッションリーダー、地区ガバナー、規定審議会代表議員、ゾーン研究会委員長を歴任しました。

また、スリランカで津波によって破壊された25校を再建する、ロータリー地区およびクラブのプロジェクトの委員長として、15,000人の生徒たちの支援に貢献しました。ロータリー財団功労表彰状、財団特別功労賞、ポリオのない世界を目指す奉仕賞の受賞者でもあります。

バナシー夫人との間には、2人のお子さんがいらっしゃる、ご夫妻は共に、財団のメジャードナー（レベル4）です。

ロータリー・ニュース

#### 次週《9月6日》の卓話予定

テーマ 「最近の中国ビジネス事情  
国境概念の歴史と尖閣問題を例にして」  
成都緑好食品有限公司 董事長 長井 壽満 様  
（紹介者 白鳥 厚夫 会員）